

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	アナスタシア子ども相談室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	25	(回答数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士。公認心理師がいることが強みだと思っています。運動の重要性や科学的根拠にのった説明をできることをもっと強化していきたいと思っています。	運動の重要性や、食事、睡眠などの重要性を意識的に説明するようにすること、心理学的な視点(ABA)などの理解してもらえるように意識的に行なっています。ブログなどにものせています。	さらに勉強をして、ふくざつな専門用語を使わずに理解してもらえるように工夫をしていきたいです。
2	学校や幼稚園、保育園から写真の許可をもらい、報告書は活動内容がわかりやすいように写真をのせています。	訪問先では写真をとらせてもらえるように頼んでいます。また、先生方と仲良くなり、たくさん話すことを心がけています。	先生、保護者さまから信頼を得られるようにたくさん話をして、必要な助言ができるようになること、解決策などを考えられるように更なる勉強、福祉の経験を継続していきたいです。
3	保育所、幼稚園、小学校、医療機関等と連携し、情報共有や支援方針の調整を行う体制を整えています。関係機関との継続的な連携により、子どもを取り巻く環境全体を踏まえた支援を行える点が強みです。	関係機関との継続的に連携をとることを意欲的に行なっています。	子どもを取り巻く環境全体を踏まえた支援を行える点が強みです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園、保育園、小学校低学年の支援には経験が豊富ですが、小学校高学年、中高生の支援は弱いと思っています。	小学校高学年、中高生の利用者が少ないことが1つの要因だと考えます。	小学校高学年、中高生の経験が豊富な相談支援事業所や、保育所等訪問支援の事業所から、情報収集を積極にしていきたいです。
2	感覚統合や発達支援における専門性を強みとしていますが、その一方で支援の質が特定の職員の経験や判断に依存しやすと思っています。	観察視点や評価基準が個々の臨床経験に基づいていることが要因だとかんがえます。	アセスメント項目の標準化、チェックリストや評価シートの整備、定期的なケース検討会の実施などにより、支援の質を組織として共有・向上させる仕組みづくりに取り組みたいです。
3	支援の成果が数値や客観的指標として十分に示せていない点が課題です。	統一した観察視点や評価基準がないことが要因だと考えます。	評価指標の明確化や経過記録の充実を図り、支援前後の変化を分かりやすく示す体制を整備したいと思っています。

公表 自治体からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名 アナスタシア子ども相談室

公表日 2026年 3月 3日

利用児童数 70人

回収数 38パーセント

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12			13		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16	1		8		リビングが面談室になっており、面談室みたいではありません。面談室にふさわしいように配置や雰囲気を
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	24			1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	24			1		
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	24			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24			1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	18			7		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			3		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22			3		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	20			5		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25			0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25			0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	13		2	10	家族で参加できるプログラムがなかったです。	家族で参加できるプログラムはなかったのですが、家族プログラムを作っていきたいです。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	21	2		2		他の保育所等訪問事業所として面談の機会を作り、助言できるようにしていきたいです。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1		3		他の保育所等訪問事業所として面談の機会を作り、助言できるようにしていきたいです。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		1		共感してもらっているかわからないと思われるように、利用者の心に寄り添うように努力します。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			3		
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			2			

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	24			1		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	20			5		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	24			1		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	2		7	ホームページがあることを知らなかったです。自己評価表がどこにあるのかわかりません。	ホームページがあることをもっと周知していきます。自己評価表は今回が初めてになるののついていません
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			5		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	15			10		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			6		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	21	2		2	子供自身が保育所等訪問のサービスをうけていることをしりません。なので嫌がっているのかわかりません	訪問支援の時に顔がぼれていると、よそいきになってしまうため、顔を知られなくしていることがあります
	28	事業所の支援に満足していますか。	23	1		1	他と比べられないのでわかりません。	他の事業所と比べなくても満足できるように改善していきます。

公表 訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026 年 3月 日5				
		利用児童数 70				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	19	1		実際の場面に即した具体的な助言がある、すぐ実践できる内容だった、丁寧で分かりやすい説明、子どもの様子に合わせた提案があった、情報共有が的確 もう少し具体例を増やしてほしい、継続的な助言があるとより良い	もう少し具体例を増やして助言したいです。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	18	2		相談しやすい雰囲気がある、丁寧に対応してくれる、迅速に回答してくれる、現場の悩みに寄り添ってくれる、も	もう少し助言の頻度を増やしたいです。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	19	1		園の実態を理解している、子どもの特性を踏まえた内容、無理のない提案、実践しやすい助言、継続して見てもらえるとより助かる	継続して見させてもたいです、
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	18	2		子どもの課題が整理された、対応方法が具体的に分かった、保育の方向性が明確になった、職員間で共有しやすくなった、変化を数値で示せるとより良い	変化を数値で示せるように工夫したいです。
5	事業所からの支援に満足していますか。	19	1		情報共有が丁寧、必要なタイミングで連絡がある、記録や報告が分かりやすい、信頼できる対応、一部の意見、もう少し頻度があっても良い	もう少し頻繁に連絡をとるようにしたいです。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
① 良い評価として多い内容 ・ 具体的で実践的、園の状況に即している。丁寧な助言、情報共有がありがたい、参考になる ② 支援効果に関する評価 ・ 課題が明確になった、支援方法が分かった ③ 一部に見られる改善示唆 ・ もう少し具体的な方法が知りたい、継続的な助言を希望、情報量を増やしてほしい					評価結果を踏まえ、今後は助言内容のさらなる具体化、継続的なフォロ一体制の充実、支援効果の分かりやすい可視化、ならびに適切な情報共有の強化に取り組み、より質の高い訪問支援の提供に努めてまいります。	

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		アナスタシア子ども相談室		公表日		2026年 3月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制・ 整運 備管・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している か。	<input type="radio"/>				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会 を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業 務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげ ているか。		<input type="radio"/>	外部評価の実施には至っていないが、保 護者アンケートや訪問先評価を通じて内 部改善を行っている。	第三者評価の導入を検討し、客観的視点 を取り入れることで支援の質向上を図る 。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人 内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>				
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと 保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪 問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理 責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の 下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	<input type="radio"/>				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当 者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいる か。	<input type="radio"/>				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支 援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフ ォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むイン フォーマルなアセスメントを使用する等により確認している か。	<input type="radio"/>				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドライン の「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体 的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支 援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる 支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支 援を行っているか。	<input type="radio"/>				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われ た支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を 尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時に連絡は行っているが、定期的・体系的な連携体制までは確立できていない。	医療・保健・教育機関との定期的な情報共有体制を整備し、連携強化を図る。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	日常業務を優先しており、地域会議への積極参加はできていない。	地域資源との連携強化のため、協議会や地域会議へ可能な範囲で参加する。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	個別相談は実施しているが、体系的な家族支援プログラムは実施していない。	家族向け勉強会やミニ講座の開催を検討し、保護者支援の充実を図る。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	訪問型支援のため保護者同士の交流機会は設けていない。	オンライン交流会や情報共有の場の設置を検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	ホームページは運用しているが、定期的な情報更新が十分ではない。	定期的なブログ更新や活動報告の発信を行い、情報提供を強化する。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	事例発生時には共有しているが、体系的な記録・分析体制は十分ではない。	ヒヤリハット記録様式を整備し、定期的な振り返り会議を実施する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	身体拘束事例はないが、明文化した手順は整備していない。	身体拘束に関する指針を明文化し、職員間で共有する。